



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社ヨータイ 上場取引所 東
 コード番号 5357 URL <http://www.yotai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 馬場和徳
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 江波二郎 (TEL) 072-430-2100
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,379	2.1	539	58.5	670	49.9	449	27.1
26年3月期第2四半期	10,162	△2.7	340	△55.9	447	△45.8	353	△7.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 399百万円(△43.9%) 26年3月期第2四半期 711百万円(135.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	20.45	—
26年3月期第2四半期	15.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	23,550	17,292	73.4
26年3月期	22,743	17,029	74.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 17,292百万円 26年3月期 17,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	5.4	1,390	57.2	1,490	42.8	990	24.8	45.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期2Q	25,587,421株	26年3月期	25,587,421株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	3,597,071株	26年3月期	3,596,128株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期2Q	21,990,907株	26年3月期2Q	22,413,182株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（セグメント情報等）	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響は徐々に薄らいでいるものの、国内の設備投資の動きは鈍く、回復の足取りは依然として重い状況です。

一方、世界の経済状況は、国や地域で温度差があり、米国は企業業績や雇用の改善が続き、堅調に推移したものの、欧州のデフレ懸念の深刻化、新興国の景気減速懸念等もあり、依然として先行きの不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、生産面では構造改革による生産効率の改善や品質向上等に取り組み、販売面では新製品提案に重点を置いた積極的な営業活動を展開し、開発面では国際競争力を持つ新製品の開発やリサイクル技術の確立に鋭意取り組んでまいりました。また、中国子会社の生産品目の高付加価値化、販路の拡張及び財務体質の改善に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は103億79百万円と前年同四半期に比べ2億17百万円の増収となり、営業利益は5億39百万円と前年同四半期に比べ1億99百万円増加し、経常利益は6億70百万円と前年同四半期に比べ2億22百万円の増加となりました。

四半期純利益につきましては、4億49百万円と前年同四半期に比べ95百万円の増加となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(耐火物等)

耐火物等事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は87億54百万円となり、前年同四半期に比べ1億32百万円の増収、セグメント利益は9億93百万円となり、前年同四半期に比べ2億35百万円の増加となりました。

(エンジニアリング)

エンジニアリング事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は16億25百万円となり、前年同四半期に比べ84百万円の増収、セグメント利益は2億2百万円となり、前年同四半期に比べ11百万円の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の資産合計は、235億50百万円であり、前連結会計年度に比べ8億6百万円増加しました。これは主として、原材料及び貯蔵品の減少3億22百万円等があるものの、現金及び預金の増加7億11百万円、受取手形及び売掛金の増加4億85百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債合計は、62億58百万円であり、前連結会計年度に比べ5億44百万円増加しました。これは主として、買掛金の増加1億83百万円、未払消費税の増加1億59百万円、未払法人税等の増加1億21百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産合計は、172億92百万円であり、前連結会計年度に比べ2億62百万円増加しました。これは主として、為替換算調整勘定の減少67百万円等があるものの、利益剰余金の増加3億13百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間の自己資本比率は73.4%となり、財政状態は概ね良好であると判断しております。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は30億97百万円となり、前第2四半期連結会計期間末より6億17百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は10億49百万円となりました（前第2四半期連結累計期間比3億45百万円の増加）。これは主に、売上債権の増加額5億8百万円の減少要因があるものの、税金等調整前四半期純利益6億82百万円、賞与引当金の増加額3億10百万円、減価償却費2億89百万円、たな卸資産の減少額2億20百万円、仕入債務の増加額2億2百万円の増加要因によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べての獲得した資金の増加は、売上債権が増加したものの、税金等調整前四半期純利益が増加し、法人税等の支払額が減少したことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は2億21百万円となりました（前第2四半期連結累計期間比74百万円の減少）。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億29百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べての使用した資金の減少は、有形固定資産の取得による支出が減少したことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は1億22百万円となりました（前第2四半期連結累計期間比1百万円の減少）。これは主に、配当金の支払額1億10百万円等によるものであります。

前第2四半期連結累計期間に比べての使用した資金の減少は、配当金の支払額が減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、平成26年5月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が40,756千円増加し、利益剰余金が26,328千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,386,273	3,097,549
受取手形及び売掛金	8,917,693	9,403,186
製品	2,105,005	2,123,031
仕掛品	361,695	419,632
原材料及び貯蔵品	1,843,562	1,520,608
その他	304,403	256,248
貸倒引当金	△12,305	△10,759
流動資産合計	15,906,328	16,809,496
固定資産		
有形固定資産	4,377,374	4,297,700
無形固定資産	66,173	59,668
投資その他の資産		
投資有価証券	2,272,919	2,267,446
その他	143,505	137,917
貸倒引当金	△22,757	△21,938
投資その他の資産合計	2,393,667	2,383,425
固定資産合計	6,837,215	6,740,794
資産合計	22,743,543	23,550,291
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,622,691	2,806,245
未払法人税等	137,818	259,060
賞与引当金	—	310,650
役員賞与引当金	19,960	10,086
その他	1,284,158	1,239,261
流動負債合計	4,064,628	4,625,304
固定負債		
退職給付に係る負債	1,228,966	1,248,259
その他	420,278	384,464
固定負債合計	1,649,245	1,632,724
負債合計	5,713,873	6,258,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,654,519	2,654,519
資本剰余金	1,750,465	1,750,465
利益剰余金	12,359,820	12,673,204
自己株式	△688,389	△688,702
株主資本合計	16,076,416	16,389,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	753,414	752,084
繰延ヘッジ損益	615	14,581
為替換算調整勘定	280,808	212,867
退職給付に係る調整累計額	△81,584	△76,758
その他の包括利益累計額合計	953,253	902,773
純資産合計	17,029,670	17,292,261
負債純資産合計	22,743,543	23,550,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,162,717	10,379,735
売上原価	8,779,678	8,762,612
売上総利益	1,383,039	1,617,122
販売費及び一般管理費	1,043,013	1,078,020
営業利益	340,026	539,102
営業外収益		
受取利息	5,659	3,882
受取配当金	28,667	29,049
為替差益	45,641	1,019
不動産賃貸料	13,041	10,920
受取保険金	—	78,530
その他	17,559	9,725
営業外収益合計	110,570	133,128
営業外費用		
支払利息	1,204	1,282
デリバティブ評価損	708	—
その他	1,555	823
営業外費用合計	3,469	2,105
経常利益	447,127	670,125
特別利益		
固定資産売却益	196	13,138
投資有価証券売却益	67,393	—
特別利益合計	67,589	13,138
特別損失		
固定資産売却損	—	248
固定資産除却損	0	196
特別損失合計	0	445
税金等調整前四半期純利益	514,717	682,817
法人税、住民税及び事業税	130,000	247,800
法人税等調整額	30,815	△14,651
法人税等合計	160,815	233,148
少数株主損益調整前四半期純利益	353,901	449,669
少数株主利益	—	—
四半期純利益	353,901	449,669

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	353,901	449,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	225,469	△1,330
繰延ヘッジ損益	△2,496	13,965
為替換算調整勘定	134,350	△67,941
退職給付に係る調整額	—	4,825
その他の包括利益合計	357,323	△50,479
四半期包括利益	711,224	399,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	711,224	399,189
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	514,717	682,817
減価償却費	286,980	289,484
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△43,766	△928
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,462	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△13,993
賞与引当金の増減額 (△は減少)	297,470	310,650
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,240	△9,874
受取利息及び受取配当金	△34,327	△32,932
受取保険金	—	△78,530
支払利息	1,204	1,282
固定資産売却損益 (△は益)	△196	△12,889
固定資産除却損	0	196
投資有価証券売却損益 (△は益)	△67,393	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△138,750	△508,448
たな卸資産の増減額 (△は増加)	418,235	220,422
仕入債務の増減額 (△は減少)	173,191	202,236
その他	△486,186	5,475
小計	930,399	1,054,969
利息及び配当金の受取額	34,327	32,932
利息の支払額	△1,204	△1,282
災害による保険金収入	—	78,530
法人税等の支払額	△259,413	△115,617
営業活動によるキャッシュ・フロー	704,109	1,049,532
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	7,700	14,679
有形固定資産の取得による支出	△396,923	△229,427
投資有価証券の取得による支出	△4,348	△4,323
投資有価証券の売却による収入	97,528	—
会員権の取得による支出	—	△2,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△296,043	△221,571
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△256	△312
配当金の支払額	△112,083	△110,294
その他	△11,225	△11,507
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123,565	△122,114
現金及び現金同等物に係る換算差額	81,974	5,430
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	366,474	711,275
現金及び現金同等物の期首残高	2,113,901	2,386,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,480,375	3,097,549

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,622,116	1,540,600	10,162,717
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,622,116	1,540,600	10,162,717
セグメント利益	758,527	191,408	949,936

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	949,936
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△609,909
四半期連結損益計算書の営業利益	340,026

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,754,138	1,625,596	10,379,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,754,138	1,625,596	10,379,735
セグメント利益	993,939	202,510	1,196,449

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,196,449
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△657,346
四半期連結損益計算書の営業利益	539,102

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更等に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

この結果、「耐火物等」のセグメント利益及び「エンジニアリング」のセグメント利益に与える影響は軽微であります。